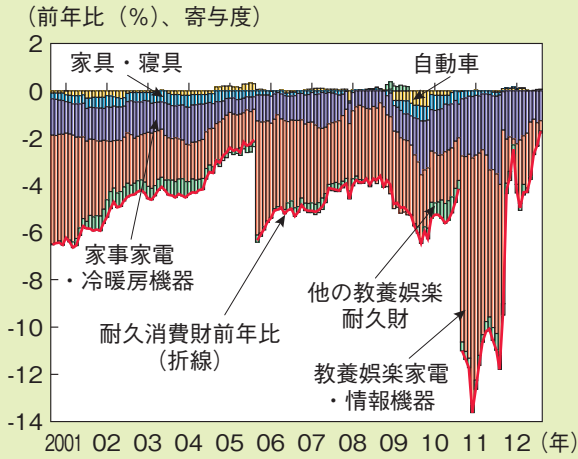


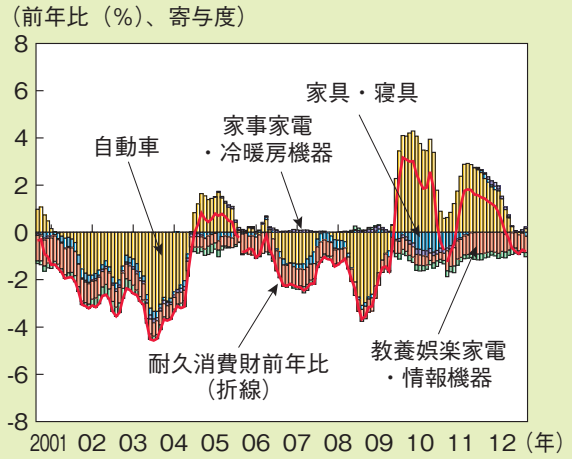
第1-2-24図 G5の耐久消費財価格の要因分解

我が国は家電や情報機器が消費者物価を大きく押し下げ

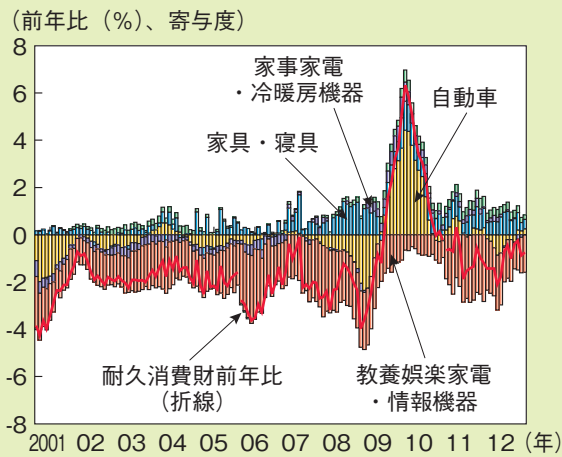
(1) 日本



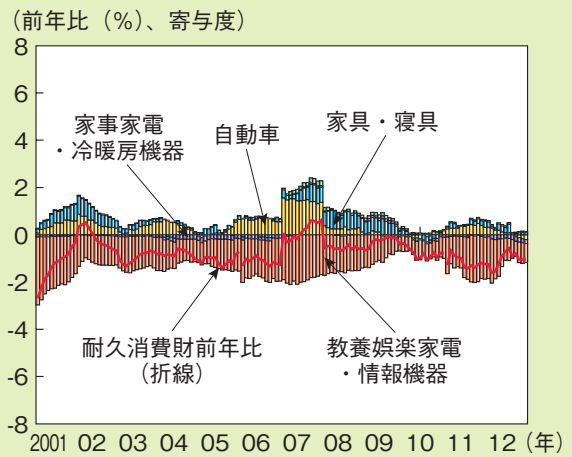
(2) アメリカ



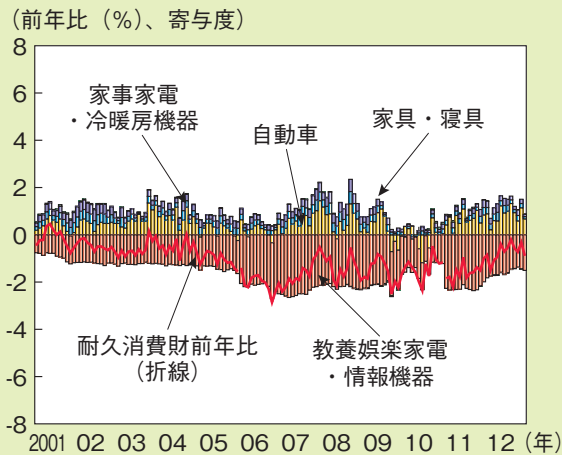
(3) 英国



(4) ドイツ



(5) フランス



- (備考) 1. 総務省「消費者物価指数」、OECD “OECD. Stat”、U.S. Bureau of Labor Statistics “Consumer Price Index”、Datastreamにより作成。
2. 2000年、2005年、2010年の3時点のウェイトを用いて各国の前年比寄与度を算出。
3. 日本の耐久消費財の寄与度は、第1-2-23(3)図で用いた試算値により算出。

を分析すると以下のような特徴が見られる。まず、国内企業物価、企業向けサービス価格（国際運輸除く）ともに、リーマンショック以降、予想物価要因のマイナス寄与が続いている。前